

3人に1人は使ってる！ 海外進学のための奨学金

主な奨学金のタイプ

	日本		海外	
タイプ	給付型	貸与型	Merit Based (メリットベース)	Need Based/Grants (ニードベース/グラント)
説明	返還不要の奨学金。 審査基準は厳しい	将来返還しなければならない奨学金。 無利子で利用できるものと有利子のものがある。条件を満たせば審査基準は高くない	成績優秀者、スポーツ功労者など 大学に功績を残した学生が対象の奨学金	経済的困窮者など、その大学で就学するのに十分な学力がありながら資金的な理由で留学を諦めないといけない学生が対象
主な審査基準	一定の学業成績・英語力 + 本人、保護者、家族の収入、納税状況	本人、保護者、家族の収入、納税状況	学業成績・スポーツでの功績・ 課外活動での功績など	一定の学業成績・英語力 + 本人、保護者、家族の収入、納税状況

奨学金の探し方

奨学金のタイプを理解したら、実際に自分に合った奨学金を探してみましょう。とっておきの検索サイトをご紹介します。
国内で提供される主な奨学金はほとんどここから検索できるかと思います。

日本国内の奨学金の探し方

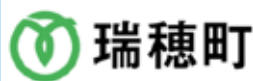
留学のために日本から申請できる主な奨学金は、日本学生支援機構のウェブサイトにもとめられています。検索機能もあるので、検討している留学先の国や教育機関から絞り込むことができます。国内のすべての奨学金が網羅されているわけではありませんが、まずはじめの情報収集に活用できるサイトとなっています。



例えば以下のような奨学金が掲載されています

公益財団法人柳井正財団

募集人数 : 年間 20 名程度
留学対象国 : アメリカ・イギリス
支給額 : アメリカ 年間 95,000 ドルを上限
イギリス 年間 65,000 ポンドを上限
選考方法 : 書類選考と対面面接 2 回



募集人数 : 若干名 (毎年)
留学対象国 : 限定なし
支給額 : 一括 150 万円
選考方法 : 書類選考

など、他数百の奨学金情報が掲載されています。
その他、各自治体などが提供している奨学金は競争率も低く受給率を上げられる可能性もあります。お住まいの市や区役所のウェブサイトも確認してみましょう。

海外の奨学金の探し方

残念ながら、世界中の大学の奨学金情報がまとまったサイトはありません。ただし、日本と比べ奨学金制度が充実しているのが海外の大学です。まずは大きく3つの方法で海外の奨学金獲得の手がかりにいきましょう。

志望大学ウェブサイトでの留学生も対象の奨学金有無を確認

例) UCLA の奨学金案内ページ



奨学金まとめサイトで探す

奨学金制度が充実している海外ならではの、いろいろなまとめサイトがあります。奨学金ありきで大学選定するのなら、こういった情報を足がかりに始めるのも手です。



例) Scholarships.com ウェブサイト

各国大使館で奨学金情報がないか探す

実は各国の在日大使館ウェブサイトにもその国政府から日本人のために設定された奨学金情報が掲載されています。



例) オーストラリア政府奨学金

一般に公開されている奨学金情報だけでなく、入学志願時に一つエッセイを追加して自分だけの奨学金をもらうことができたり、サポートをお願いする留学エージェント独自で持っている奨学金枠などもあります。実際の海外進学準備の際は、利用するエージェントに聞いてみましょう。